

◆ 野外活動関連

16日、安全講習会で通信担当の渡邊隊員より、野外調査用無線機の種類、特徴や使用方法について説明がありました。素人のため、詳細はよくわかりませんでした。UHFやHF、衛星電話のイリジウム等を場所や状況に応じて、使用するようになっていきました。過酷な環境の中、連絡が途絶えることは人命と直結するため、通信手段の確保は何より重要なものとなっています。その後、野外における無線アンテナの立て方の実習を受けました。午後には、野外観測のための食料の仕分け作業を行いました。野外オペレーションは、日帰りのものから数日、内陸チームは1か月以上など様々で、各チームごとに予定食料を配分しました。その量たるや膨大なもので、生野菜、肉類、米、冷凍食品、乾燥食材、各種飲料、菓子類、調味料など、普段の食材とほとんど変わらないものでした。野外で、普通に調理をするようです。やはり、食べる楽しみは何ものにも代えがたいようです。



通信に関する講習



アンテナ実習



冷凍食品



仕分け作業

◆ JARE57 隊員紹介

菅澤 弘一 (38) 夏隊 庶務・情報発信 宮城県出身
東北大学財務部

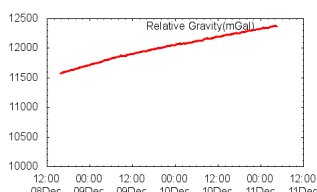
大工や植木屋などの職人になりたかった。大学卒業後、紆余曲折があり10年前に現在の仕事に就いた。南極に興味はなかったが、現仕事場で南極に行った人がいることを知り、興味がわいた。日本の代表として携われること、様々な職種の人たちと仕事と一緒に出来ることに魅力を感じた。それ以来、職場の調書に「南極に行きたい」と記してきた。皆さんには「夢は語らないと叶わない。言い続けることが大事」との言葉を頂きました。今までにない経験なので、とにかく南極の大地に立ってみたい。どんな気持ちになるのか？空はどう見える？南極で息吸って生活したい、とおっしゃっていました。笑顔で素直でいい人であれ！をモットーに縁の下の力持ちでJARE57を支えています。57次メンバーの素晴らしさを熱く語っておられました。



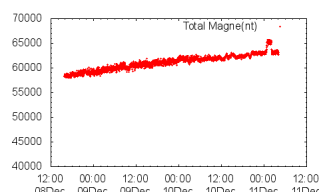
昭和基地で仕事中の菅澤隊員

◆ 重力、地磁気の変化

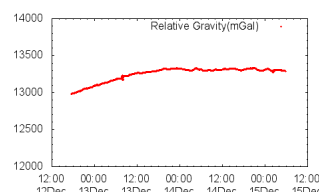
NO.9で紹介した「SHIRASE Infomation Web」のデータから重力と地磁気について、少しお話。下図左の2つは、12月8～11日、右の2つは12～15日の重力、全磁力の変化を表しています。南磁極は、現在、南緯64度、西経137度付近にあります。8～11日は、しらせは東経110°ラインに沿って南下中であり、重力、全磁力ともに大きくなっています。14日より南緯61°ラインに沿って西進を始めました。それに呼応するように、重力値は一定になり、全磁力は南磁極から遠ざかるため、小さくなっています。まさしく、教科書通りというものです。



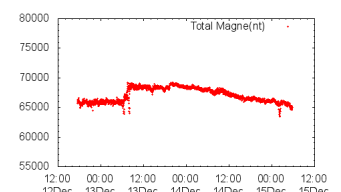
重力値



全磁力値



重力値



全磁力値